

1 教科について

国 語

昨年度の課題

漢字・ローマ字の「読み・書き」の定着

主語・述語の関係をつかむこと

登場人物の心情を読み取り、背景となる理由を読み取ること(物語文)

段落構成をつかむこと(説明文)

目的に応じて伝えたいことをわかりやすく整理して書くこと

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

漢字・ローマ字の定着に向けて  
定着率の低い漢字を取り上げて指導する。ローマ字は単元終了後も家庭学習を中心に繰り返し学習し定着させる。(定期的小テストの実施)

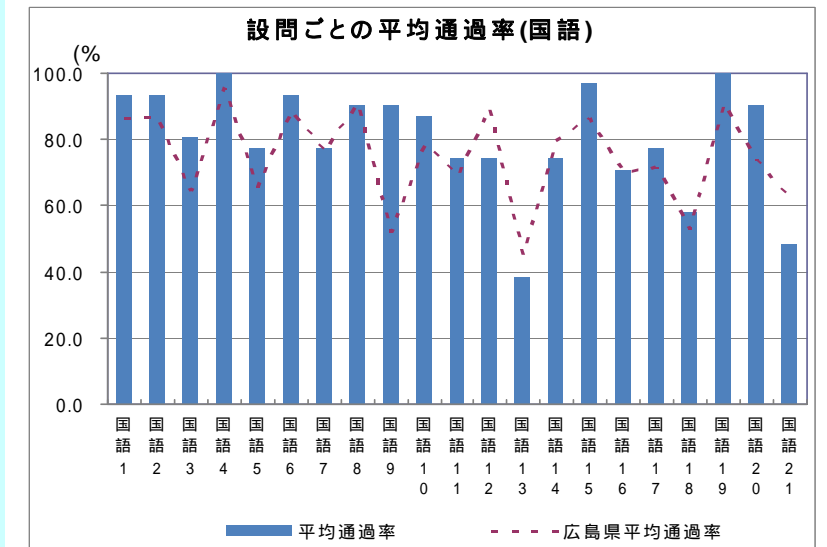
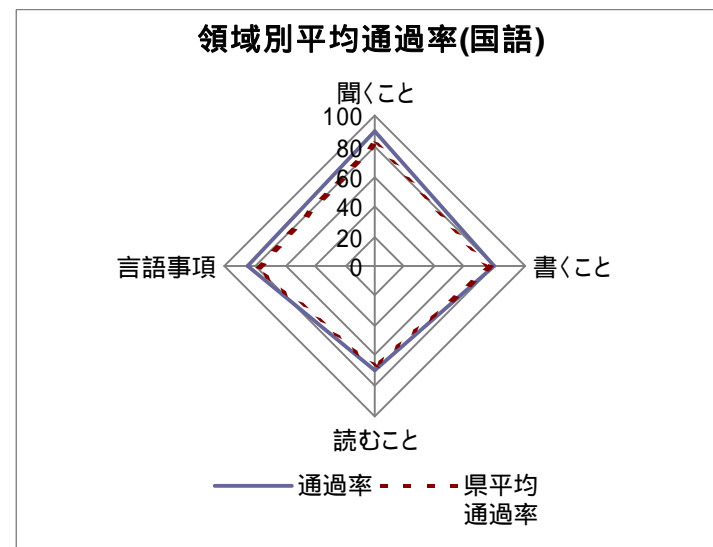
主語・述語の関係をつかむことに向けて  
国語の時間の初めに3分間ドリルを行い、主述の関係をつかませる。

物語文の読み取りに向けて  
物語文の学習で、登場人物の心情の根拠を文章中から見つけ整理して書かせる。

説明文の段落構成をつかむことに向けて  
説明文の学習ではプレスタディー・本教材・リスタディーの単元構成による授業展開を図り、中心文・要点・要旨・段落構成をつかませる。段落構成図を書かせる。

書く力の育成に向けて  
総合的な学習の時間との関連を図り、相手に伝えるために必要な情報・内容を箇条書きにして書く活動を仕組む。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 80.3% 県平均 75.0%



重点課題 : 「基礎・基本」定着状況調査  
: 全国学力・学習状況調査

適切な語の選択。  
段落相互の関係をつかむ(要点・キーワード)。  
書くことにおける段落構成。  
自分の立場や意図を明確にして、目的や意図が伝わるように話の組み立てを工夫して話す。  
ローマ字・接続語。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

低学年では、動作化やふき出しを活用して登場人物の心情を読みとらせる。中学年以降は、叙述に即して文中の言葉に着目させ、登場人物の心情を読みとらせる。

プレスタディー・本教材・リスタディーの単元構成による授業展開を図り、内容の中心・要点・要旨といった各学年でつけるべき力を確実につける。3分間ドリルで、くり返し学習し定着を図る。

低学年から徐々に構成メモを活用し、推敲する習慣をつける。低学年から自分の考えをはっきりさせ、整理して書くスキルトレーニングを行う。

資料や数値を根拠にして自分の考えを話したり、資料を提示しながら説明したりする学習を仕組む。

ローマ字は6年生まで継続して家庭学習で定着させる。接続語を使い書く活動を仕組む。

来年度の目標値

通過率 70%以上の児童の割合を 80%以上にする。  
通過率 50%未満の児童の割合を 10%以下にする。

# 指導方法等の改善計画について

## 算 数

### 昨年度の課題

複合型面積

数の構成・量感(あてはまる単位)

問題文をもとに 図に表す力や図と式を結びつ

けて考える力

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

日常生活とのかかわりをもたせながら具体物を用いた算数的活動を多く取り入れ、意欲をもたせる。

題意を的確につかませるために視覚的支援を行い、指導過程の工夫を行う。

文章問題において、関係を絵や図に表す指導を徹底する。また、式を導いた考え方をノートに書かせる。(ノート指導の充実)

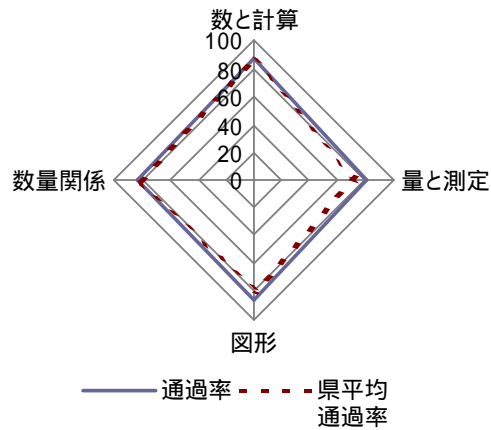
単元末には、セレクトプリント学習を実施し、個に応じた指導を図る。

朝会時の3分間ドリル等繰り返し学習を行い、基礎力の定着を図る。(定期的小テスト実施)

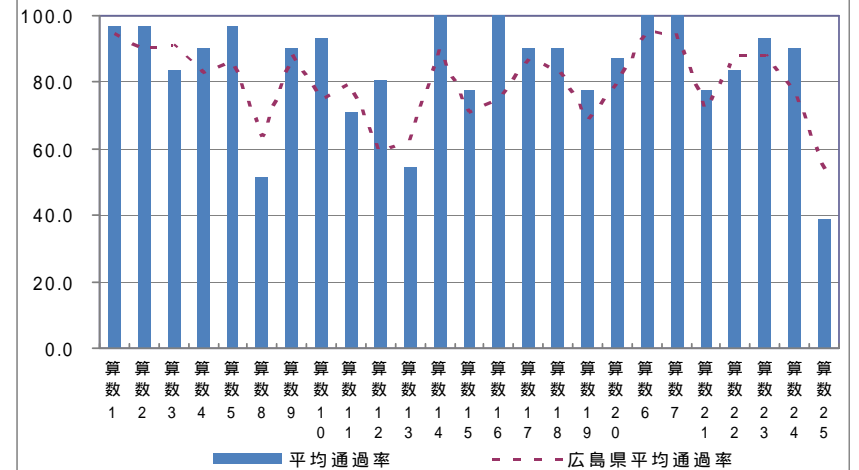
家庭学習の充実を図る。(宿題提出率 100%、自分学習の推進、家庭との連携を密にする)

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 84.5% 県平均 79.8%

領域別平均通過率(算数)



設問ごとの平均通過率(算数)



**重点課題** : 「基礎・基本」定着状況調査  
: 全国学力・学習状況調査

分数の意味  
あてはまる面積の単位(面積の量感)  
伴って変わる数量(変わり方の決まりを見つける)  
与えられた条件に合うものを選択する  
割合の大小の判断

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

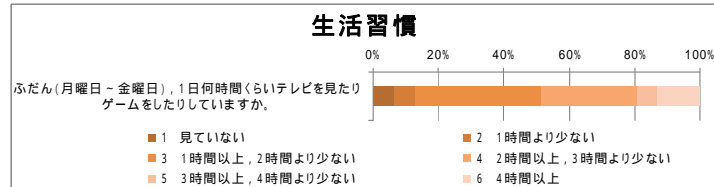
1 を単位量とする指導において、図に表す、半具体物に表す活動を全学年を通して、意図的に指導する。  
長さ・面積・体積等の量感をとらえさせるために、図に表したり、体験的な活動を取り入れたりする。  
図形の指導法を改善するために授業研究を行う。  
(2学期: 2年, 4年, 特別支援学級)  
二つの数量の関係を言葉の式で表したり、式の意味の理解を深めるために二つの数量の関係を調べる活動を取り入れ、関数の考え方を伸ばす。  
「条件を書き出し整理する」「答えの根拠をノートに書く」「考えを説明する」学習を継続して指導する。  
「計算して割合を求める」「数直線で割合を表す」「グラフをかく」活動を取り入れる。

### 来年度の目標値

通過率 70%以上の児童の割合を 80%以上にする。  
通過率 50%未満の児童の割合を 10%以下にする。

## 2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

### (1) 生活・学習

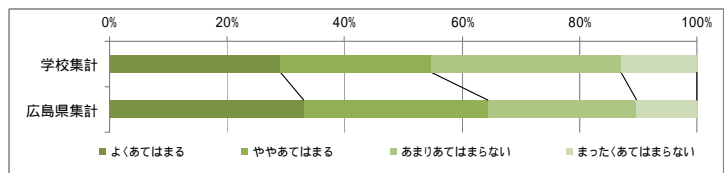


改善したい点（「基礎・基本」，「全国」）	今後の具体的な取組みの内容
<p>テレビ・ゲームの時間を減らす。</p> <p>3時間以上テレビを視聴する児童の割合が高い。家や図書館で平日に読書をする児童が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活調べなどのアンケート活動を通して，児童と保護者の理解を得る取組みを推進する。</li> <li>学級懇談会やPTA全体会で問題提起し，学校全体で具体的な目標を掲げ取り組む。</li> <li>週末に学級文庫を持ち帰らせ家庭で読書をする習慣をつける。</li> </ul>

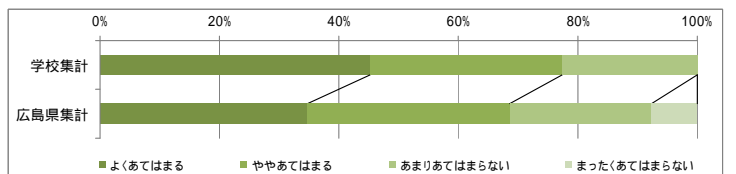
来年度の目標値	目標内容
	・テレビの視聴時間が3時間未満の児童の割合を80%以上にする。

### (2) 教科

国語の授業では，分からない言葉や漢字は，辞書を使って調べています。



算数の授業では，考え方やとき方を絵や図などに表したり，まとめたりしています。



	児童の回答と学校の指導についての課題（「基礎・基本」，「全国」）	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	辞書の活用が図られていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい教材文を読むときや言語事項の単元で，辞書を引く時間・場面を確保する。</li> <li>テスト直しのとき，辞書を使わせる。</li> <li>家庭で国語辞典・漢字辞典を準備してもらい，家庭学習で調べる課題を出す。</li> </ul>
算数	自立解決場面で自分の考えをノートに表す授業展開が十分に図られていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数プロジェクトで取り組んでいる「自立解決場面で考えを絵や図，テープ図や線分図，表に表す。」活動を，全学年で徹底して指導する。</li> <li>ふりかえりに，絵や図，テープ図や線分図，表を取り入れて視覚的にふりかえることができるように全学年で指導する。</li> </ul>

来年度の目標値	目標内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等で辞書を活用する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>自分の考えをノートに表す児童の割合を85%以上にする。</li> </ul>

指導改善のための実施スケジュール

	～ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan		Do		Check		検証	Action	Check	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">                     結果の分析・H20の改善計画の見直し                      H21の改善計画の実施                 </div>							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">                     次年度の計画                 </div>		
国語  算数	【教科】	改善計画作成	改善計画公表							
		3分間ドリルの実施 【国語】主述・文章構成 【算数】四則計算								
		ドリル朝会・がんばり学習の実施 国語(漢字・ローマ字)算数(未定着内容の補習)								
		言語技術を活かした授業 ことばのスキル		上下学園合同授業研修会(上下北小) 国語1年・3年 算数2年・4年・特別支援学級	校内授業研修(2年・3年・4年)	2学期まとめのテスト実施 (85%以上達成)	校内授業研修(6年・特別支援学級)	CRTテスト実施 分析と未定着内容への取り組み	年間の成果と課題の分析  次年度の計画	
		説明文を中心につけたい力を明確にし、単元構想を工夫した授業	上下学園研究会 国語(5年) 理科(6年)							
		「量と測定」を中心にした授業改善			校内授業研修(1年)	校内授業研修(5年)				
			校内授業研修(特別支援学級)							
	【生活・学習】	学校評価(中間報告) 成果と課題を明らかにし、2学期以降の改善策を明確にする。					学校評価 成果と課題を明らかにし、改善策を明確にする。			
		学校関係者評価 上下学園重点指導項目の取り組み	学校評価の保護者説明会 課題に対して家庭との連携を図る。 生活アンケート実施					学園内の成果と課題をまとめ、次年度の重点課題をたてる。		
				「早寝・早起き・朝ごはん」「テレビ・ゲームの短縮」「家庭学習」に家庭の協力で取り組む						